

問1 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。
2. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。
3. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。
4. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。

問2 18世紀半ばから19世紀末にかけてのロンドンでは、人口が約100万人から650万人近くへと垂直に近い角度で急増しました。これに伴い、テムズ川の水質悪化が深刻な社会問題となりましたが、この時期に汚染が急速に進んだ背景として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 島根公立入試 類似）

1. 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。
2. 産業革命による工場建設が進んだことで、工場から排出される化学物質を含んだ排水が主な汚染源となったため。
3. 石炭の大量消費によって発生した硫酸酸化物が雨に溶け、強い酸性雨となって河川の生態系を破壊したため。
4. 世界的な気温上昇によってテムズ川の水量が減少し、もともと川に含まれていた有害物質の濃度が相対的に高まったため。

問3 日本の縄文時代において製作された「土偶」について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2025年 京都公立入試 類似）

1. 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。
2. 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。
3. 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。
4. 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。

問4 紀元前2500年ごろ、現在のパキスタン付近を流れるインダス川流域で栄えた文明において使用され、石製の印章（印鑑）などに刻まれているものの、現在も解読されていない文字を何といいますか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. インダス文字
2. 楔形文字
3. 甲骨文字
4. 神聖文字（ヒエログリフ）

問5 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

1. 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。
2. 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が活発になり、工芸品が伝わった。
3. 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。
4. 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

問6 現在のペルーなどに見られる、精巧に組み立てられた石壁を特徴とするインカ帝国の遺構に関連して、この地域の歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。
2. 16世紀にポルトガルが大陸全体を植民地化し、先住民の伝統的な石造り技術をヨーロッパへ伝えた。
3. 18世紀にスペインやイギリスが勢力を争い、先住民を味方につけたイギリスがアンデス全域を支配した。
4. 18世紀にオランダが先住民の文明を保護する目的で進出し、キリスト教を禁止する政策をとった。

問7 古代中国の黄河流域で栄えた文明について、出土した文字資料の特徴や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎公立入試 類似）

1. 殷の都の跡から見つかった文字は、現在の漢字の基となっており、主に亀の甲羅などに刻まれていた。
2. メソポタミアで生まれた楔形文字が東方に伝わり、粘土板の代わりに骨に刻まれるようになったものである。
3. 秦の始皇帝が文字の統一を行った際に、動物の骨を再利用して新しい文字体系を作ったものである。
4. 周の時代に、青銅器の表面に文字を鑄込む「金文」として始まり、後に骨に刻まれるようになった。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問2	答え 1 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。	産業革命期の大都市では、短期間に爆発的な人口増加が起きました。当時の都市開発において、増え続ける住民が出す生活排水を処理する仕組みが十分に整っていなかったことが、テムズ川の深刻な水質汚濁を招く直接的な原因となりました。工場の排水も問題ではありましたが、この時期のロンドンにおける最大の汚染要因は未処理の生活排水でした。
問3	答え 1 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。	縄文時代の人々は、狩猟や採集による生活を営む中で、あらゆる自然物に靈魂が宿ると考えるアニミズム的な世界観を持っていました。土偶は、そうした信仰の中で、大地の豊穡や子孫繁栄、病気やけがの治癒を祈るための呪術的な対象として用いられました。選択肢にある「古墳の副葬品」は古墳時代の埴輪などの説明であり、「律令制度の税」は飛鳥・奈良時代の「庸」などの説明にあたります。
問4	答え 1 インダス文字	インダス文明で用いられた文字は、象形文字に近い形態を持っており、これまでに約400種類の記号が確認されています。主に印章と呼ばれる石のハンコに動物の絵とともに刻まれており、交易の際の所有権を示すために使われたと考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような翻訳の鍵となる資料が見つかっていないため、今もなお未解読のままです。
問5	答え 1 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問6	答え 1 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。	アンデス山脈を中心に栄えたインカ帝国は、16世紀にスペインの征服者によって滅ぼされました。その後、スペインによる植民地支配が始まり、先住民は過酷な労働を強いられたり、ヨーロッパから持ち込まれた病気によって人口が激減したりするなどの大きな被害を受けました。支配とともにキリスト教の布教も進められたため、「キリスト教の禁止」という説明は誤りです。また、この地域において大きな影響力を持ったのはポルトガルではなくスペインです。
問7	答え 1 殷の都の跡から見つかった文字は、現在の漢字の基となっており、主に亀の甲羅などに刻まれていた。	中国最古の王朝とされる殷では、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使用されていました。これは物の形をかたどった象形文字から発展したもので、漢字の基となった重要な文字です。選択肢にある「楔形文字」はメソポタミア文明のものであり、「金文」は主に周の時代の青銅器に記されたものを指すため、殷の時代の特徴としては甲骨文字が適切です。